



安岡 明雄
(市民の声)

少子化、人口減少に対応するまちづくり

質 人口減少による税収の減少、高齢化による社会保障費の増加など、深刻な状況にコスト負担を含めどのような方針でいくのか。市民と直に話し合い、筋道を示してほしい。

答 総合計画は、人口減や少子高齢化、地域経済や財政事情等の現状を踏まえて策定した。市民協働会議の場で共通の認識と目標を持ちながら、計画を推進する中で、市の財政状況等に応じたコストと住民サービスの見直しを進めていく。また、会議等の情報は随時公開するほか、必要に応じて市民との懇談の場を持ちたい。

自立するまちづくり会社への支援

質 市の事務事業の中で、民間の方がより効果的、効率的に実施できるものを委託し、まちづくり会社の運営費に充てていただく。互いの相乗効果を高めることになると思うがいかがか。

答 まちづくり会社は、推進協議会の検討事業を実施可能な段階まで高め、みずから実施するとともに、事業主体同士の橋渡し役を想定している。行政に依存しない市民の手によるまちづくりを目指している。市の事務事業で、まちづくり会社に委託した方が効果的、効率的な場合は委託することも検討したい。

その他の質問事項

- ・ 財政の抜本的見直し
- ・ 行政評価と事業仕分けの手法
- ・ 組織改革



飯坂 誠悦
(創風会)

公共建築物の木造化の検証

質 学校建設の木造化の歴史の中で、事後の検証が行われてきたのか。事例を木材高度加工研究所で理論的に実証していただき、市民に公開する説明責任があると考えがいかがか。

答 公共建築物整備産学官連携研究会では木造公共施設の技術的等検証の中で、木材の乾燥や供給協力体制の不備が取り上げられ、その後の製材各社の高性能乾燥機導入や木産連木材供給グループ設立等に結びつけた。さらにさまざまな検証を引き続き行い、木造建築に携わる全木材関係者の力量の押し上げ、技術力向上、競争力強化に資されたい。

渡部斧松のまちおこしへの利活用

質 広く一般市民が参加できる斧松学習はいかがか。①斧松翁の歩んできた歴史を探访する生涯学習。②7500点もの斧松関係文書の解読研究の市民講座、などはどうだろうか。

答 ①渡部斧松の業績については、地域おこしグループの活動の中でも取り上げられ、市民にも広く知られるようになってきているので、現在市で実施している歴史探訪会のコースの一つとして考えていきたい。②古文書の研究講座の開設については、資料の準備や講師の確保等を含め検討していきたい。

その他の質問事項

- ・ 北朝鮮に拉致された家族を救う会の写真展
- ・ 旧能代サティ跡地の利活用
- ・ バイオマスタウンの早期実現



小林 秀彦
(日本共産党)

雇用確保の対策

質 本格的な冬を前にして、景気の悪化とともに市民生活は厳しさを増している。厳しい雇用情勢だが、雇用の状況についてと雇用確保の対策について伺う。

答 能代管内の10月末現在の有効求人倍率は、0.55で、ここ数年0.5前後の低い数値で推移し、雇用情勢が大変厳しいと認識している。雇用確保対策として、起業育成や求職者のスキルアップを図っている。また、企業誘致等庁内推進本部を設置し、全庁体制で企業誘致に取り組む。

福祉灯油

質 灯油価格は下落傾向にあるとはいえ、原材料費の高値で食料品の値段が上がり、低所得者の生活は苦しさを増している。ぜひ今年も福祉灯油事業を実施すべきでないか。

答 原油価格が下落している状況から、灯油価格は今後も値下がりすることが予想され、市民生活への影響は少ないとの判断で、現時点では福祉灯油事業を実施しないこととしているが、今後も引き続き価格の動向を注視しながら検討していきたい。

その他の質問事項

- ・ 子供に正規の国民健康保険証を交付すること
- ・ 農業振興策
- ・ イオン出店